

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：京丹後市

重点目標	「ひと」、「みず」、「みどり」歴史と文化が織りなす交流のまちづくり		
	事業群	構成事業名	
a 合併後のまちづくり緊急対策		合併記念事業	
		地域防災拠点（集会所）施設整備助成事業	
		丹後文化芸術祭助成事業	
		地域資源活用市民交流イベント開催事業	
		消防施設整備事業	
		救急設備整備事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>「タウンミーティングイン京丹後」（共催内閣府、参加者約700人）、「星空の街・あおぞらの街全国大会」（共催環境省）関連事業の「環境啓発イベント風人祭」（参加者約7,000人）の開催や、地域資源を活用した市民交流として「第1回くみはまドラゴンカヌー市民大会」（参加者約1,000人）を実施し、合併後の市民一体化の早期形成と市民意識の高揚を図るとともに、新市の誕生を全国に広く情報発信した。</p> <p>また、地域防災拠点としての集会所整備に対する助成（2施設、受益者307戸）、地域の消防団活動拠点としての消防ポンプ車庫の整備（2施設）、救急現場における救命率を高める二相波式除細動器の整備（2基、高規格救急車搭載率100%）を実施し、市域の均衡ある発展や市民主体の自立的な地域づくり、安心して暮らせる生活環境基盤を速やかに整えることに努めた。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

（記載要領）

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	合併記念事業				
事業の概要	新市スタートの記念及び京丹後市の知名度を高めるため、「タウンミーティング イン 京丹後」、星空の街・青空の街全国大会関連事業「環境啓発イベント 風人祭」を開催する。				
	目標時期	平成19年度			
	総事業費	47,000	本年度事業費	6,116	交付金交付額
事業の必要性	合併後の市民一体化を早期に形成し、新市建設計画に定めた基本理念を市民共有のものとして市民参画、市民協働のまちづくりをすすめるため、新市の誕生を市民一人ひとりが認識するとともに「京丹後市」を全国に広く情報発信する必要がある。				
事業の有効性	合併記念事業の実施によって、京丹後市の魅力あるまちづくりに対する姿勢や恵まれた自然景観、地域資源を活かした地場産業等の取り組みを全国に情報発信することができるとともに、新市の誕生と新たなまちづくりに対する市民の共通認識を深めることができる。				
事業の効率性	内閣府との共催、全国規模の大会（環境省共催）と連動したイベントの開催により、マスメディアによる報道の活用や全国各地からの来訪者との有機的な連携を形成することができる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 合併を契機にした市民の速やかな一本化を助長し、新たなまちづくりに対する市民連携、連帯の機運を高めることができた。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果 合併記念事業には市民や来訪者を合わせて約7,700人（風人祭7,000人、タウンミーティング700人）の参加があり、観光立市を目指した取り組みや自然との共生を図ろうとする取り組みを全国に紹介するとともに、近隣市町との連携や広域観光ネットワークの形成への足がかりにすることができた。				
	5 行財政改革に資する成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	地域防災拠点(集会所)施設整備助成事業				
事業の概要	地域住民の自治活動と地域防災の拠点として、自治会が実施する地域防災拠点(集会所)整備に対して助成する。				
	目標時期	平成19年度			
	総事業費	110,000	本年度事業費	49,946	交付金交付額
事業の必要性	市民主体の自立的な地域づくり、安心して暮らせる生活環境を整えるため、地域防災拠点(集会所)のない集落や機能低下、老朽化が見られる地域防災拠点(集会所)施設の改築、改修を支援をする必要がある。				
事業の有効性	地域住民が自ら判断して主体的に取り組む地域防災拠点(集会所)の整備によって、地域における自助、共助の精神が浸透するとともに、自立的な地域づくりや安心・安全な地域づくりの気運を高めることができる。				
事業の効率性	地域防災拠点(集会所)施設の整備を支援することにより、地域防災、災害時にも対応できる機能が保持できるとともに、子どもから高齢者までが気軽に利用できる地域コミュニティ活動の拠点が充実する。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 地域防災拠点(集会所)施設の整備により、災害時における地域防災拠点として機能が増すとともに、地域コミュニティ活動(自治会の総会、老人会、子ども会、婦人会、PTA等の利用)の活発化が図られ、住民の連帯意識の高揚と自主的な地域づくり意識が醸成された。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果 地域住民のニーズや地域の実情にあった主体的な取り組みを支援することにより、市民協働のまちづくり意識を高めて効果的、効率的な行財政運営を目指す。				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	丹後文化芸術祭助成事業				
事業の概要	丹後2市4町で構成された実行委員会が実施し、丹後圏域のグループ、サークル等が参加する「丹後文化芸術祭」の実施運営に対し助成する。				
	目標時期	平成19年度			
	総事業費	7,500	本年度事業費	2,500	交付金交付額
事業の必要性	市域、町域を超えた丹後圏域住民の自主的な地域づくりや連帯意識の高揚を図るため、住民参加・住民運営型の広域的な文化芸術活動を支援する必要がある。				
事業の有効性	身近な機会を提供することにより、参加団体、出場者等の発表・交流を通じた専門性の追求や技術、技量の向上が図られ、鑑賞者にとっては文化芸術にふれあえる場とすることができる。				
事業の効率性	実行委員会に各分野、部門ごとの事業推進委員会を組織し、出演者や参加者の募集から展示、進行から発表までを各委員が主体的に運営することによって、住民参画型の文化芸術事業が推進できる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果 この事業への参加は8,149人(出場者・参加者2,154人、鑑賞者等5,995人)で、昨年(7,470人)より9%増の参加者があり、丹後圏域における文化芸術の交流が拡充できた。				
	5 行財政改革に資する成果 各分野、部門ごとに有志等による事業推進委員会が設けられ、住民のニーズを取り入れた専門的かつ効率的な運営ができた。				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	地域資源活用市民交流イベント開催事業				
事業の概要	スポーツ、レクリエーションを通じて市民相互の交流を図り、合併後の市民の速やかな一本化をすすめるため、「第1回くみはまドラゴンカヌー市民大会」を開催する。				
	目標時期	平成19年度			
	総事業費	15,000	本年度事業費	5,318	交付金交付額
事業の必要性	新市建設計画の基本理念にそったまちづくりを推進するため、市民相互の交流とふれあいの場や新市の魅力を共有できる場を提供することによって、市民としての連帯意識を高め市民一体化を早期に形成する必要がある。				
事業の有効性	市民グループを対象に地域資源を活かしたドラゴンカヌー市民大会を実施することにより、市民相互の交流と融和を促進でき、恵まれた資源を市民の共通認識として共有するとともに、自然と共生したまちづくりや環境保全意識の高揚を図ることができる。				
事業の効率性	市民ボランティアの育成によって、市民自らが運営を手がけるなど、地域の実情に合った市民参画型・市民本位のイベントを効率的に実施することができる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果 地域固有の水辺環境を積極的に活用した市民参加型のイベント(参加者約1,000人)として実施するとともに、全国から参加できる「ドラゴンカヌー選手大会」との連携によって、市域の魅力や市民のまちづくりに対する思いを圏外に発信することができた。				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果 市民運営型のスポーツ・レクリエーションイベントとして、地域住民自らが開催するイベントに発展させることによって、効率的、効果的な行財政運営を目指す。				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	消防施設整備事業				
事業の概要	市民の安心と安全を確保するため、地域の消防防災活動を支える消防団の活動拠点である消防ポンプ収納庫や消防自動車格納庫を整備する。				
	目標時期	平成22年度			
	総事業費	56,000	本年度事業費	8,290	交付金交付額
事業の必要性	市域の均衡ある消防防災体制を確保するため、老朽化や機能の低下している消防防災施設、設備の整備を行う必要がある。				
事業の有効性	施設の整備によって、住民の自立、自助及び地域連帯の精神に基づく防災意識を高め、市民協働による災害に強いまちづくりを推進することができる。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 消防団と地域住民との連携強化や地域防災力の向上が図れるとともに、消防資機材の管理と災害時における迅速な出動体制が確立できる。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	救急設備整備事業				
事業の概要	救急現場における救急救命士の適切な処置を補完するため、市内に配備されている高規格救急車に二相波式除細動器を配置する。				
	目標時期	平成22年度			
	総事業費	158,000	本年度事業費	4,725	交付金交付額
事業の必要性	市域の均衡ある救急業務体制を確立するため、救急隊員の技術力の向上とあわせて救急設備、資機材の拡充を図る必要がある。				
事業の有効性	未搭載になっている高規格救急車2台に二相波式除細動器を整備することによって、救急救命士による救急現場での除細動処置が速やかに実施できる。				
事業の効率性	全ての高規格救急車に除細動器を配備することができる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。